

北海道・東北

関東

北信越

東海

近畿

中国

四国

九州・沖縄

北海道・東北

関東

北信越

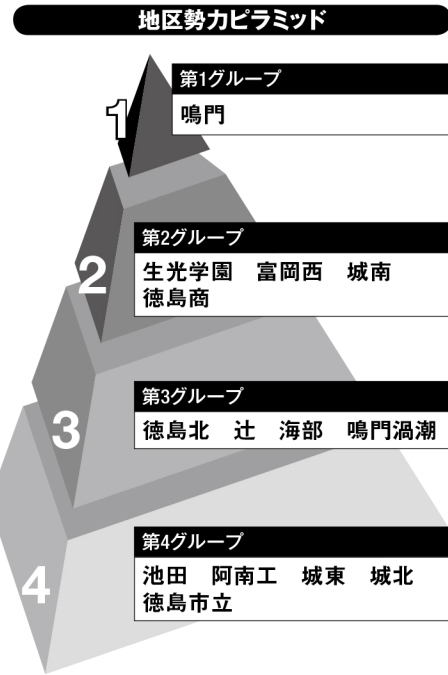
東海

近畿

中国

四国

九州・沖縄



秋季大会		春季大会	
小松島西	1	鳴門	8
池田	10	鳴門渦潮	7
城南	8	生光学園	8
新野	6	徳島北	3
鳴門	10	城南	1
徳島商	2	徳島商	3
生光学園	7	富岡西	10
徳島科学技術	0	徳島市立	3

大会展望 鳴門、無風区で5年連続出場濃厚か？
 「そんなことはないです」。何度聞いても森脇稔監督は即座に否定するが、第1シード・鳴門の徳島県勢初となる5年連続夏の甲子園出場は揺るがない。最速140キロ台の投手を5枚抱え打線も強力。「無風区」になる予感。唯一、戦力的に鳴門を止める可能性があるのは、黒石真生、中辻颯の右腕2枚をそろえる生光学園のみ。第2シード・城南と第4シード・富岡西はエース1枚のみでは苦しいだろう。ノーシード勢では同等の実力派投手が2枚いる徳島北、辻などが大穴候補。

池田Vメンバー井上力監督、30年ぶり母校へ
 3月末、「青天の霹靂」の人事異動が発令された。2年前に池田をセンバツ1勝に導いた岡田康志監督が辻へ。後任には徳島商を2度甲子園に導いた後、特別支援学校へ勤務していた井上力氏が就任。井上氏は池田が1986年センバツ優勝した際の6番・中堅手。30年ぶりの母校帰還だ。「高文也監督とキミ子さん(高監督の妻)が中心となって地域に化学反応を起こした。そこに立ち会った者としてひとつでも、ふたつでも選手たちに伝えていきたい」と井上監督は力強く語る。



注目野手
手束海斗(鳴門)

海部の「ドラッグバント名人」
 野手編
 手束海斗や鎌田航平など、鳴門に好選手が目立つが海部には変わった特技を持つ選手がいる。1番・右翼手の大滝隆也は人呼んで「ドラッグバント名人」。あ

らかじめ前に出てくる内野手をあざ笑うかのよう、ことごとく間を破って内野安打を奪う。本人も「ゴツはわからない」という天からの贈り物だ。
 強肩捕手にも注目。佐原雄大(鳴門)、増井大翔(池田)、前田将吾(徳島北)、市原弘仁(徳島商)、佐尾山遼(城南)はいずれも2秒1を切る二塁送球タイムを持つ。各人リード面での課題はあるが、肩は大きな強みになる。
 さらに武岡大聖・橋本玲汰(生光学園)コンビや佐藤将矢(城北)の長距離砲、森下義伸(辻)を筆頭に藤原晴陽(城東)、八木柁吉(板野)などの俊足選手も続々と成長を続ける徳島県高校球界。成長の先が楽しみだ。

投手編
 鳴門「140キロ5人衆」誕生
 「河野電生が145キロ、松本凌斗が141キロ。矢竹将弥が140キロに尾崎海晴が140キロ。あ、中山晶量も昨年の今ごろ146キロを出していますね。スピードは意識させていませんが」
 こうサフッと最速数値を公開したのは鳴門の福本学コーチ。しかも河野以下の利き腕とフォームは「左上・右上・左上・右横・右上」。こんなヨリドリミドリの投手陣は空前絶後だろう。
 とはいえ、マウンドに立てるのは1人だけ。1年夏から甲子園の舞台を経験した中山は直近の公式戦・総体協賛ブロック大会ではベ

ンチからも外れ、応援の太鼓を担当していた。
 太鼓担当といえば明治大サッカー部入学当時の「アモーレ」こと長友佑都(日本代表DF)が有名だが、中山もその系譜を継いでトップへ這い上がるのか？ 太鼓でつかんだりリズム感最後の夏への糧となるのか注目。
 鳴門の投手陣以外にも急成長投手は各校に点在している。鳴門渦潮の近藤幸来は元・日本ハムトレニングコーチの花増幸二部長の指導により最速143キロまで球速を伸ばした。石本光紀(海部)も長い手足を利して最速139キロ。徳島北では2年生長身右腕コンビの前田大成と新田大輔が控える。左腕・紀本幸太郎(富岡西)

のシュートや任介滯志(新野)のクロスファイアーは右打者には厄介この上ない。
 増田大輝(巨人)の実弟である増田将馬(徳島商)は投手専念で徐々に投球術を覚え、大東右頰・城南は独特のボールの持ち方で打者のタイミングをずらす。生光学園の黒石真生は昨秋、中辻颯の故障で三塁手から投手に転向。筋のよさが光り、中辻復帰後も2本柱を形成する。
 そして玉岡翔太(辻)の投球も必見。162センチの小兵ながら春以降に球速を10キロ上げ、現在最速135キロ。軟投派左腕・滝上和弥とのコンビはシード校の脅威となる。
 板野の2年生右腕・森井紘斗は

速速144キロを記録しているものの、春の県大会後に右ヒジの疲労骨折が発覚し手術。順調にリハビリは進んでいるが、夏の出場機会は代打が野手に限られそうだ。

直近の甲子園出場校		ドラフト関連度	
12夏	鳴門	総合	
13春	鳴門	C	
13夏	鳴門	野手	投手
14春	池田	C	C
14夏	鳴門		
15春	—		
15夏	鳴門		
16春	—		

注目投手
 河野電生(鳴門)

徳島県の主な注目選手

守備	名前	所属	学年	身長	体重	投打	評価	コメント
投手	河野 電生	鳴門	3	173	73	左左	B	県外相手に立ち上りの課題克服でまず。本来の実力は全国上位だが
投手	尾崎 海晴	鳴門	3	177	82	右右	C+	本格派右サイド、インステップからのクセ球持ち味に敵を打ち取る
投手	近藤 幸来	鳴門渦潮	3	176	66	右右	C+	細身の身体から最速143キロ。状態悪化時の修正力が次の舞台でのカギ
投手	紀本幸太郎	富岡西	3	174	65	左左	C	最速137キロストレートとシュートをはじめとする変化球を巧みに操る
投手	石本 光紀	海部	3	178	68	右右	C	長い手足を使って強いストレート。夏は最速139キロからまだ伸びそう
二塁手	鎌田 航平	鳴門	3	180	73	右左	C+	腰高の守備は今後の課題も、一塁駆け抜け4秒を切る全力疾走は魅力
三塁手	齋藤 広夢	徳島商	3	178	79	右左	C	定評あるバットコントロールに加え、最近はスイングに力が出てきた
遊撃手	橋本 玲汰	生光学園	3	178	75	右右	C	堅実系遊撃手。「左殺し」平田薫道場に師事し、長打力にも成長の跡
外野手	手束 海斗	鳴門	3	173	80	右右	C+	高校通算33本塁打超えた右スラッガー。安打を二塁打に変える足も持つ
外野手	武岡 大聖	生光学園	3	177	91	右左	C+	コンパクトフルスイングで数質比相手でも右中間最深部へ打ち込む